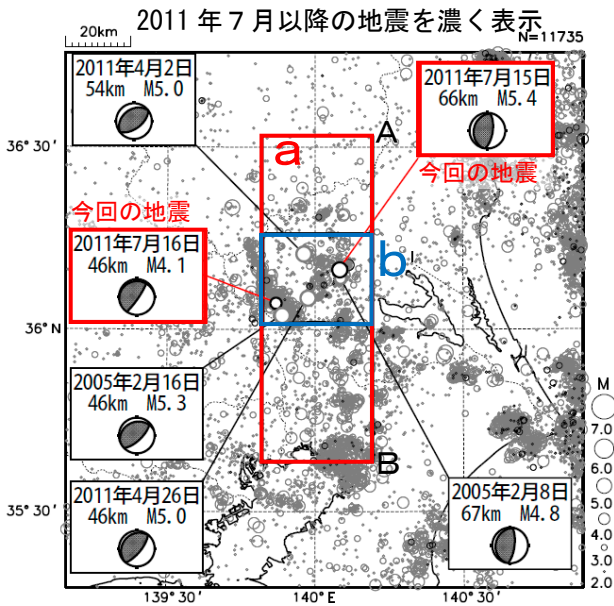


# 7月15日 茨城県南部の地震

震央分布図（1997年10月1日～2011年7月31日、深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）

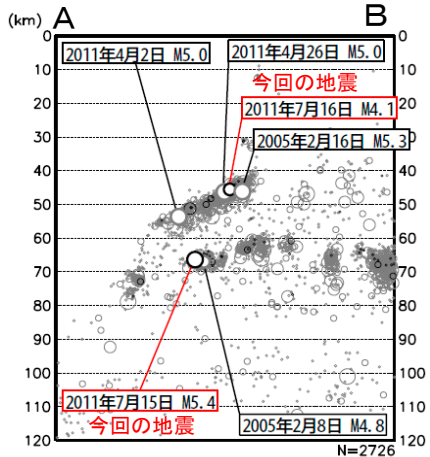


7月15日 21時01分に茨城県南部の深さ66kmでM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

また、16日17時57分には、この地震の震央から南西約20km付近の深さ46kmでM4.1の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震であった。

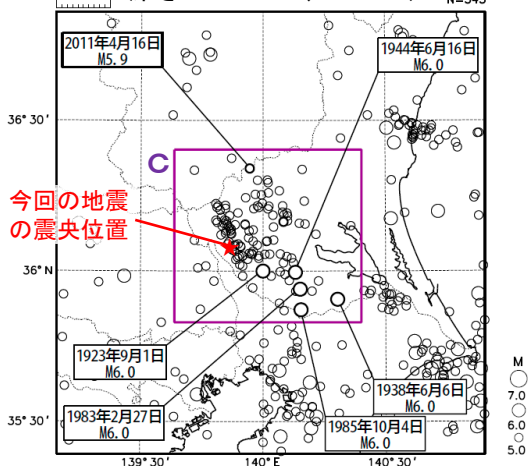
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）は、地震活動の活発な地域であり、M5.0以上の地震も時折発生しており、このうち、今回の7月16日の地震の近傍では2005年2月16日にM5.3の地震（最大震度5弱）が発生している。

領域 a 内の断面図（A-B 投影）

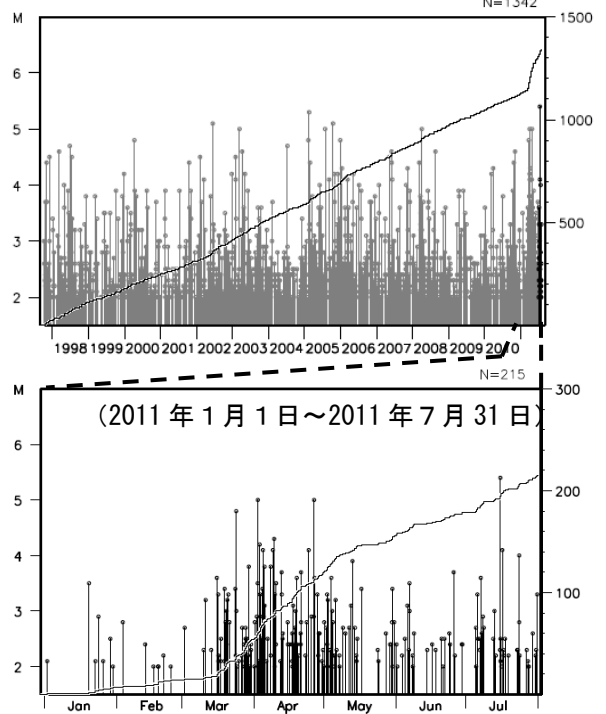


1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0の地震が5回発生している。そのうち、1983年2月27日に発生した地震（最大震度4）では、負傷者11人などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

震央分布図（1923年8月1日～2011年7月31日、深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



領域 b 内の地震活動経過図及び回数積算図



領域 c 内の地震活動経過図

